

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-オクチルフェノールのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

7 B 7 9 0 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： *p*-オクチルフェノール
- 2)暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間： 96時間
- 5)試験濃度 (設定値)： 対照区, 助剤対照区, 0.100, 0.200, 0.400, 0.800および1.60mg/L
(公比; 2.0)
- 6)試験液量： 5.0L
- 7)連数： 1 容器/濃度区
- 8)供試生物数： 10尾/濃度区
- 9)試験温度： 24±1℃
- 10)照明： 16時間明/8時間暗
- 11)被験物質の分析： H P L C 法

結 果

- 1)試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して±20%を越える分析結果があったため、以下の値は測定濃度の幾何平均値を基に示した。
- 2)96 時間の半数致死濃度 (LC50)：0.0878mg/L
(95%信頼区間：0.058mg/L~0.133mg/L)